

社会福祉法人愛善会 一般事業主行動計画

社会福祉法人愛善会は、女性活躍の推進に向け、職員の多様性を尊重しそれぞれの経験を活かしながら長く活躍できる職場環境を整えるために次のとおり事業計画を策定します。

1. 計画期間

令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間

2. 現状分析

(ア) 採用した労働者に占める女性労働者の割合

令和3年度末現在	全職員	管理職員	補職者	一般職	臨時	パート
女性採用者	140	1	36	66	11	26
全採用者	203	7	43	101	22	30
女性労働者割合	69.0%	14.3%	83.7%	65.3%	50.0%	86.7%

- 令和3年度末時点における在籍職員全体の女性比率は69.0%となっている。管理職員部門では14.3%と低水準となっている。

(イ) 男女の平均継続勤務年数の差異

- 女性17.3年、男性8.9年と女性比率がほぼ2倍で推移している。男性一般職員、臨時職員は中途採用による勤続年数のばらつきが影響していると考えられる。

(ウ) 管理職に占める女性労働者の割合

- 女性比率が14.3%となっており、キャリアアップや活躍の場について男女差が表れている。

(エ) 労働者の各月ごとの平均残業時間数等の労働時間の状況

- 職員全体の年間平均残業時間は7.9時間。男女差は見られず、施設利用者への直接対応職員と事務系職員の残業時間にはばらつきがある状況。

3. 目標

(ア) 女性管理職配置を20%以上にする。(女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供)

- 職員再雇用等を活用推進し、経験豊富な職員によるOJT実践環境を整備する。

(イ) 男性職員の育児休業取得実績を1名以上にする。(仕事と家庭の両立に資する雇用環境整備)

- 育児休業制度の説明資料を作成し、職員へ配布する。
- 個別相談対応を実践し、休業取得の意向を確認記録する。
- 男性も安心して育児休業を取得し、円滑に職務遂行できるよう職場の調整を図る。